

# 心に残る記念事業

豊田市中学生のためのコンサート

2022.

8月 23 日 24 日 25 日 木

豊田市コンサートホール

with 名古屋フィルハーモニー交響楽団







豊田市長 太田 稔彦

## 心に残る芸術体験を

この度、日本有数のオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団を豊田市コンサートホールに迎え、本市の未来を担う皆さんに、素晴らしい音楽をお届けできることを大変嬉しく思います。

「心に残る記念事業」は、中学3年生の皆さんにオーケストラの演奏を聴いていただき、文化芸術に親しむことで、豊かな感性を育んでほしいと願って開催するものです。

豊田市コンサートホールは、平成10年にオープンし、平成15年にはシンボルであるパイプオルガンを設置しました。国内外のアーティストからも素晴らしい音響と美しい客席空間を備えたホールとして、高い評価を得ています。演奏とともに、この施設の魅力にも触れていただきたいと思います。

今回の演奏は、「WE LOVE とよた」をテーマに、豊田市在住の声楽家である伊藤貴之さんをソリストに迎えて開催します。伊藤さんの力強い歌声による独唱の魅力を感じてください。そして、こうした芸術体験を通して、本市への愛情と誇りが大きく育つことを期待いたします。

本事業が、様々な困難と直面している「with コロナ」の時代を生きる皆さんにとって、芸術に触れる豊かな時間を存分に楽しんでいただける機会となれば幸いです。



豊田市教育委員会教育長 山本 浩司

## 本物の芸術に触れる

「心に残る記念事業」は、本物の芸術に触れることで中学生の感受性が高まることを願い、平成元年から開催している事業です。一流のオーケストラの演奏を体全体で受け止め、心で感じ取ることができるのが、このコンサートの素晴らしいところです。

本日の演奏会では、歌劇の序曲、日本の名曲、交響詩など、優れた作曲家によるさまざまなジャンルの親しみ深い曲を鑑賞します。

今回演奏される『セビリヤの理髪師』序曲は、ロッシーニが作曲した最も有名なオペラ序曲の一つです。冒頭の威厳のある旋律にイタリアオペラ的な美しく親しみやすいメロディが続きます。300年以上も前に作曲されたバッハの作品からは、パイプオルガンのもつ表現の豊かさや、当時の教会にも響き渡っていたであろう重厚かつ荘厳な音色を聴くことができます。チェコ国民音楽の父と呼ばれた作曲家であるスメタナの作品『ヴルタヴァ（モルダウ）』は、チェコの大地を流れるヴルタヴァ川の様々な表情を音楽で表しています。そこには、スメタナの故郷への深い愛情が込められており、豊田市における矢作川の美しい流れと豊かな風景が重なって心に浮かんでいきます。

優れた芸術は、時代を越えてたくさんの感動を私たちに呼び覚ましてくれます。本物の芸術に触れることで、皆さん一人一人が豊かな心と感性を一層育まれることを期待します。

# 演奏曲 紹介

## ■ロッシーニ: 歌劇『セビリヤの理髪師』序曲

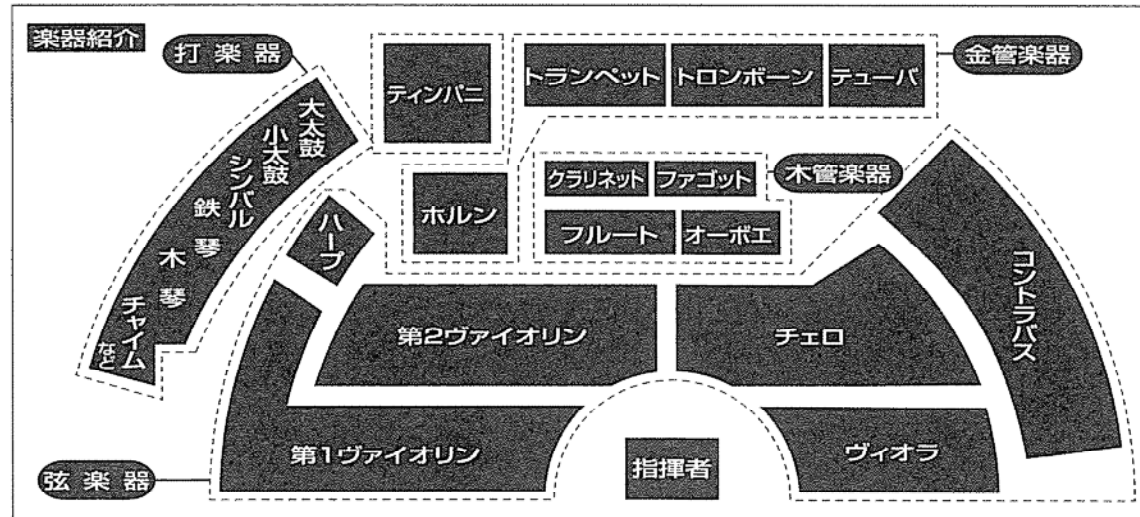
ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868) は、18歳でデビューし引退するまでの19年間で多数の作品を残した歌劇(オペラ)作曲家です。1816年に作曲された《セビリヤの理髪師》は、ロッシーニの代名詞で、喜劇オペラの傑作ともいわれています。

舞台はスペイン、アルマヴィーヴァ伯爵と美しい娘ロジーナの恋を理髪師フィガロが取り持ち、2人の結婚を成功に導いていく物語です。冒頭に演奏される序曲は軽快で親しみやすい曲で、単独でも演奏されることの多い人気曲です。

### 【楽器紹介(オーケストラ)】

#### ■【カジノユキ編曲】: オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』

舞台をご覧のとおり、オーケストラにはたくさんの楽器が使われています。皆さんはどれだけの楽器を知っているでしょうか? この曲では、オーケストラのありとあらゆる楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディに乗せて、メドレー形式でご紹介します。ナレーションも合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。



名古屋フィルハーモニー交響楽団の通常の楽器配置

### 【楽器紹介(オルガン)】

#### ■バッハ: フーガト短調 BWV578『小フーガ』

「音楽の父」ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750) は、西洋音楽史上最も偉大な作曲家と言っても過言ではありません。膨大な数の作品を残し、自身も鍵盤楽器奏者として活躍しました。彼が得意とした「フーガ」という形式は、ひとつのメロディが「声部」と呼ばれる複数の音域で形を変えながら繰り返され、緻密に音楽を構築する作曲法です。《小フーガ》という愛称のあるこの曲は、4つの声部による「4声のフーガ」として作曲されており、冒頭のメロディは特に印象的です。

#### ■モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) はオーストリアの作曲家で、「神童」と呼ばれ、幼いころから才能を発揮した天才少年でした。《フィガロの結婚》は、フランスの劇作家カロン・ド・ボーマルシェが1784年に書いた戯曲を題材に、モーツァルトが作曲した歌劇(オペラ)です。

ロッシーニ《セビリアの理髪師》の物語の続きとなっており、スペインの伯爵邸を舞台に、伯爵の従者となったフィガロと伯爵夫人の侍人スザンナの結婚をめぐる1日の騒動が描かれています。伯爵夫人や小姓ケルビーノなど個性的な登場人物が織りなす恋や親子愛が絡み合うコミカルなオペラは、今なお不動の人気を得ています。

#### ■モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』より「もう飛ばまいぞ、この蝶々」

伯爵の小姓である美少年ケルビーノは、蝶のようにスザンナや伯爵夫人の部屋を行き来しています。ある日、ケルビーノが伯爵夫人に恋をしているという噂が流れ、それを聞いた伯爵を怒らせてしまいます。軍隊へ行くよう命じられたケルビーノに対して、伯爵の従者フィガロは、「軍隊での生活は大変だ、さあ行ってらっしゃい!」と親しみを込めてからかいます。行進曲のように勇ましいリズムと、フィガロを演じる、バス歌手=伊藤貴之さんの独唱にご注目ください。

### 【指揮者のお話】

#### ■ブラームス: ハンガリー舞曲第5番

ドイツの大作曲家ヨハネス・ブラームス (1833-1897) は1853年、ハンガリー出身のヴァイオリニスト、エドゥアルト・レマーニと一緒に演奏旅行に出かけます。そこでレマーニからロマ(ジプシー)の民族音楽を教してもらい、大きな興味を持ちました。その旋律を2台ピアノ用にまとめたのが「ハンガリー舞曲集」です。21曲の舞曲集は、ブラームス自身や様々な音楽家たちによってオーケストラ用に編曲もされており、中でも「第5番」は、一番有名な楽曲です。テンポがたくさん変わる難しい曲ですが、指揮者はどのようにオーケストラに合図をしているのでしょうか?今日は特別に、指揮者=中井章徳さんに指揮をレクチャーしていただきます!

#### ■村井邦彦【岩本渡編曲】: 翼をください

《翼をください》はフォークグループの「赤い鳥」が1971年に発表した歌謡曲です。のちに教科書に収録されると合唱曲としても有名になり、1970年代後半から学校教育の場でもよく採り上げられ、誰もが歌える1曲となりました。今日はオーケストラの伴奏と、バス歌手=伊藤貴之さんの歌声でお楽しみください。

#### ■スメタナ: 交響詩『ヴルタヴァ(モルダウ)』

ベドルジハ・スメタナ (1824-1884) は、チェコを代表する作曲家です。オーストリアの一部となっていたチェコの人々の気持ちを高める音楽をたくさん書き、「チェコ国民音楽の父」と呼ばれています。代表作である《ヴルタヴァ(モルダウ)》はチェコの大地を流れるヴルタヴァ川(ドイツ語読みではモルダウ川)の様々な表情を音楽で表しており、スメタナの故郷への愛が込められています。フルートとクラリネットによって表現される2つの小さな流れが、やがて合流して1本の大きな川となり、ここであの有名な「モルダウの主題」が演奏されます。流れは狩りの角笛や田舎の婚礼の踊り、妖精たちの踊りを眺めながら、急流にさしかかります。流れが緩やかになると、川は古いお城を横に見つつ、プラハへと流れ込むのです。

## 演奏者 紹介



指揮とお話 / **中井 章徳** Conductor & Narrator / Akitoku Nakai

岡山県倉敷市出身。くらしき作陽大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業。同大学大学院音楽研究科修了。桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院（伊）で指揮を学ぶ。指揮を志賀保隆、大山平一郎、故岩城宏之、リヒャルト・シューマッヒャー、ダニエレ・アジマン、ジャンルイジ・ジェルメッティ、下野竜也、ピアノを日高七恵、重川逸呼、チェンバロをダミアノ・チエルッティ、音楽学を丸山桂介、故森泰彦の各氏に師事。

1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞を受賞し、併せて全部門の中から最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞。このほか倉敷市芸術文化栄誉章（2000年）、第10回エネルギー音楽賞（2004年）、出雲市市民文化賞（2006年）、出雲市文化功労賞

（2015年）を受賞している。

これまでに札幌交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、大阪市音楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などで客演指揮を務める他、全国各地の市民オーケストラや、大学オーケストラ、ジュニアオーケストラ、吹奏楽団、オペラ団体との共演や学校教育現場での指揮・指導、講習会や講演会での講師など、多岐にわたる活動に積極的に取り組んでいる。

現在、出雲芸術アカデミー芸術監督、出雲フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、北九州シティオペラ客演指揮者、イタリア学会会員。2017年から京都市立芸術大学大学院博士（後期）課程作曲・指揮領域に在籍し、新たな研究に取り組んでいる。



オルガン / **徳岡 めぐみ** Organ / Megumi Tokuoka

東京藝術大学音楽学部オルガン科卒業、同大学院音楽研究科修了。安宅賞受賞。ドイツ国立ハンブルク音楽大学を卒業。2001年オランダのアルクマールのシュニットガー国際オルガンコンクールで優勝、併せて聴衆者賞も獲得する。同年、ハンブルク音楽大学でDAAD賞を受賞し、受賞記念コンサートをハンブルクの聖ヤコビ教会で開催する。2002年北ドイツ放送（NDR）音楽賞国際オルガンコンクールで2位を受賞する。現在、豊田市コンサートホール オルガニスト、東京藝術大学、東京音楽大学非常勤講師、片倉キリストの教会オルガニスト、国際基督教大学オルガニスト。

CDは「シューマン・ブラームス オルガン作品集」（ベルギー）のほか、2013年に「豊田市コンサートホール オルガン設置10周年記念」「ベツレヘムに生まれし

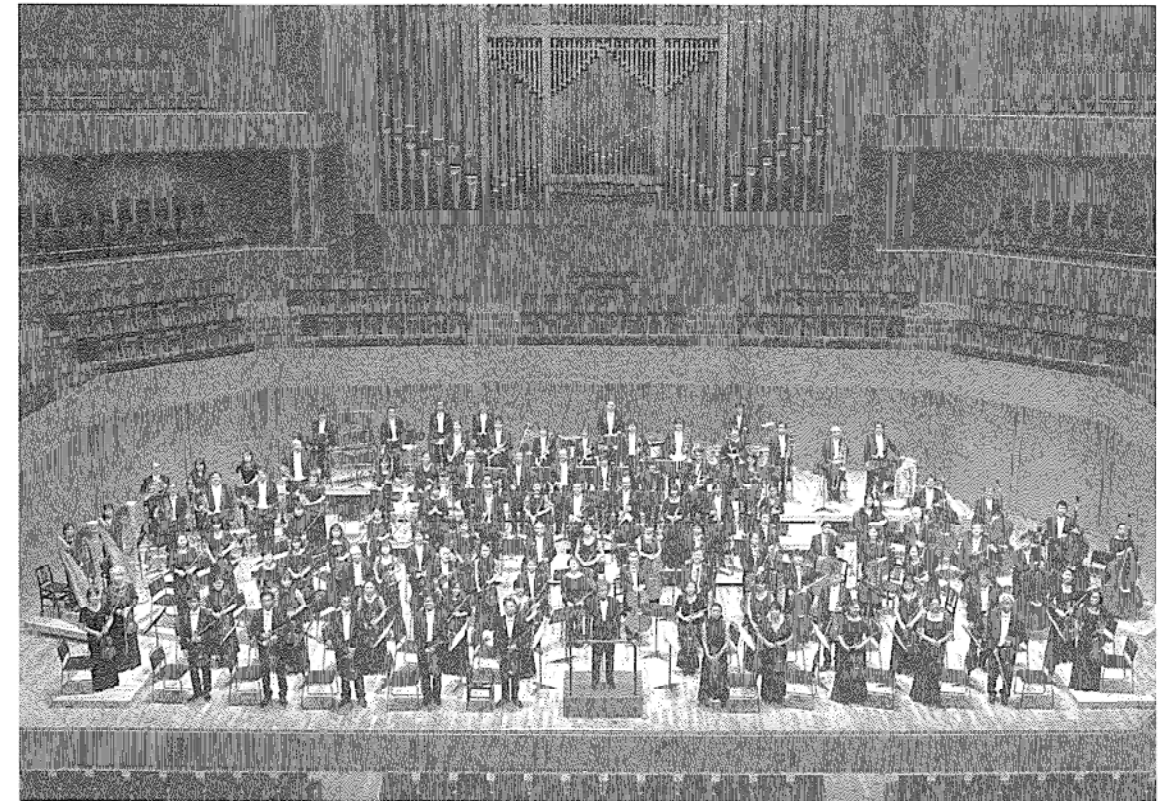
幼子 ハンブルク聖ヤコビ教会 アルプ・シュニットガー・オルガン」（ドイツ）をリリース。



バス / **伊藤 貴之** Bass / Takayuki Ito

名古屋芸術大学首席卒業。同大学大学院修了。奨学金を得て渡伊シミラノで研鑽する。第41回イタリア声楽コンクール金賞受賞。第49回日伊声楽コンクール第2位や第6回Gゼッカ国際声楽コンクール第2位など入賞歴多数。留学中、イタリアにあるヴェルディ劇場にてオペラ「アイダ」にランフィス役で出演しイタリアデビューする。愛知県芸術劇場「椿姫」でデビューしこれまで数多くのオペラに出演。また、ベートーベンの「第九」や、ヴェルディ、モーツァルト「レクイエム」などの宗教曲のソリストとしても活躍している。セイジオザワ松本フェスティバル「第九」ソリストに抜擢され、小澤征爾指揮の「第九」でソリストを務める。近年では、新国立劇場、日生劇場、大阪フェスティバルホール、びわ湖ホールなど全国の主要劇場に出演し活躍している。Aゼツダ指揮の「第九」でソリストを務める。近年では、新国立劇場、日生劇場、大阪フェスティ

ロッシェニ「スタバト マーテル」では、バスソロで出演しNHK BSで放送された。その他、「題名のない音楽会」やNHK FM「リサイタルノヴァ」などに出演した。平成24年度愛知県芸術文化選奨「文化新人賞」を受賞。平成29年度豊田文化奨励賞受賞。平成28年度とよしん育英財団奨励賞受賞。藤原歌劇団団員。



管弦楽 / **名古屋フィルハーモニー交響楽団**

Orchestra / Nagoya Philharmonic Orchestra

日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信し、“名フィル”の愛称で地元では親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。

2016年に日本を代表する指揮者である小泉和裕が音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、川瀬賢太郎（正指揮者）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）が名を連ねている。また藤倉大、酒井健治を継ぎ、2020年4月には坂田直樹が第3代コンポーザー・イン・レジデンスに就任している。

楽団創立は1966年7月。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。2013年に東海市、2016年に愛知県立芸術大学、2018年に豊田市と、それぞれ音楽教育の推進や文化芸術の振興を目的とした協定を締結している。

現在は、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」、主に子ども達を対象にした「こども名曲コンサート」、市内の学校を訪問する「名古屋市内移動音楽鑑賞教室」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。



# 心に残る記念事業

豊田市中学生のためのコンサート

主催：豊田市・豊田市教育委員会